

2日間

最新の制度改正を反映 海外の特許制度と実務上の留意点

難易度
中級

(米国・欧州(EPC)・中国)
～米国・EPC(欧州特許条約)・中国の各制度の下での
グローバル特許取得の基本的な知識と留意点を解説します～

講師	小西 恵 氏	小西永岡特許事務所 代表弁理士	
日時	2026年10月28日(水)、29(木) 13:30~16:30		

◆近年増加の一途を辿る海外での特許取得にあたって学んでおきたい基本的かつ実務的な知識をコンパクトに解説します。日頃外国出願に携わっている方の知識の整理にも好適です。

◆本講座では、パリ条約・PCT(特許協力条約)等の国際条約について、海外での特許取得に必要なポイントに絞って説明を行った上で、米国、欧州特許条約(EPC)に基づく欧州、中国の各特許制度やその特許取得手続について、日本の特許制度との対比を示しつつ、日本の出願をベースに海外でコスト効率よくスムーズに権利化できるよう、重要ポイントを分かりやすく解説します。

◆最新の制度改正を反映した制度解説と権利化における留意点について、米国、欧州(欧州単一特許(UP)を含む)、中国の順に解説します。なお、講義では米国、欧州にやや重点を置いて取り上げます。

<講義内容(予定)>

1. 日本からの外国出願の基本戦略とキーポイント
2. 日本特許制度の概要(外国制度との比較の基礎)
3. 特許関係国際条約
 - 3.1. パリ条約
 - 3.2. PCT(特許協力条約)
 - 3.3. TRIPS協定
4. 2つの外国出願ルートの違い
(PCTルートとパリルート比較と留意点)
5. 米国特許制度
6. 欧州特許制度(ヨーロッパ特許条約)
7. 中国特許制度

テキストはPDFで共有させていただきます

◇企業や特許事務所の知財担当者はもとより、研究開発部門や生産部門の技術者、研究者の方で知財経験が1年～3年の方に最適な講座です。



LIVE



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 & アーカイブ配信も実施(各講義翌日から2週間)

・聞き逃しても安心!期間内はなんどでも。

・再生速度を変更可能!